

平成21年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
事後評価結果

研究課題名	濃厚ポリマーブラシの科学と技術	研究代表者名 (所属・職)	福田 猛(京都大学・化学研究所・研究員)
-------	-----------------	------------------	----------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題では、これまで例のなかった高い表面密度でポリマー被覆された表面を作ること的成功だけでなく、高密度ポリマー層の構造を解明し、特異な物性、特に摩擦特性、吸着特性などを明らかにした。また、この高密度ポリマー層をスペーサーとしてコロイド粒子を3次元空間に規則的に配列するなどの応用開発もめざましく、これらの成果は高く評価できる。

しかし、基板表面にポリマーブラシが生成する反応過程、特異な摩擦特性をもたらす科学的原因の詳細など、濃厚ポリマーブラシ特有のサイエンスとして解明すべき問題も残されている。

本研究の成果を踏まえて、今後、応用への展開が行われることを期待したい。